

個人質問発言通告書(3日目)

平成 18 年 3 月 3 日(金)

1 人当たり 15 分間(答弁を除く)

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	玉 城 仁 章 (そうぞう)	基地行政について	日米の両政府で普天間基地の移設問題が表面化しつつあって、大変懸念されているが、県民の方は、どうも日米両政府によって、県民の頭越しに、この大事な問題が決められつつあるということに大変懸念をしているわけである そのことについて、本県知事は、約 8 年前に合意された(SACO)のプロセスが、必ずしも、うまくいっていない大変厳しい状況に固執して、辺野古沖への呪文をとなえ、その案で沈没するまでしがみ付き、この姿勢からは、基地問題の解決手段は見当たらない 県政の№2 として、リリーフ役を勤めるべき、県都の市長が、サッカー論に野球ゲームの比喩論の対応の様子は、賛同し難く、市民の笑いを買うのでは? 指導者の風格は、どのような立場の意見も尊重し、その意見から我れを省み、対話をもって互いに理解を深め、妥協ではなく、可能な限り一致点を見出し、そこから一歩一足、汗を流し行動する姿勢から大衆への賛同を得て、物事の解決への糸口を開くのではないか 今回 9 回裏に提案された硫黄島案は、(本県前知事、大田参議員)が委員会において発議提案され専門的見地から検討されている 大田案の国政の情報を先取りして、私案として先駆け、一発逆転の発想は他人の・・・・・・ではないか これまで、市長の硫黄島案は県民世論の分断であり、中央政界から頭越しの最終報告に加担し、県民無視のチャンネルを開くものである

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			3月末の最終報告を目前に、今の段階は、すべての政党案や諸団体の移設案を一同に呼び掛け、妥協でなく一致点を見出して、一本化作業の体制づくりを構築するのが真の指導者と期待するものである。そのことから以下のことを伺う (1) 「普天間基地の頭越し・沿岸案に反対する沖縄県民総決起大会」に参加すべきと思うかどうか (2) 硫黄島案は、いつ提案されるか (3) 提案書の具体的な計画案があれば提出願いたい (4) 抑止力とは、仮想はどの国か (5) 米軍は、歓楽街を必要と提言しているが、歓楽とは何を指しているか 【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

個人質問（３日目） 平成 18 年 3 月 3 日（金）

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	松 川 靖 (自民・無所属 連合)	1 基地問題について 2 住宅管理について 3 道路行政について	普天間飛行場の硫黄島移設に関連して、那覇空港の沖合い展開による平行滑走路を実現させ、現滑走路は民間専用にし、沖合いの滑走路は自衛隊に使用させるとなっているが、基地の固定化につながり、民間専用化を求める市民県民の意思に反しないか 那覇市改良市営住宅管理について (1) 現在 15 店舗のうち 6 店舗が空き店舗となっているが、いつから空き店舗となったか (2) 以前の入居者の中に家賃滞納者はいないか。いるとしたら、その内訳は何人で金額は幾らか (3) 多くの市民が利用できるよう要綱を改正し、同店舗の入居資格要件を見直す意思はないか 石嶺福祉センター線の整備について (1) 沖縄県身体障害者厚生指導所等の移転について、現在どのような状況になっているか (2) 当局として、この問題についてどのように取り組んできたか (3) 石嶺福祉センター線の整備は、ＪＡ首里総合センターの整備に間に合うのか

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 波の上地区 の整備について	ウォーターフロントの街づくりについて (1) 人工海浜を含む那覇ふ頭波の上緑地の事業概要について、配置される施設、スポーツ広場等の内容、駐車場の計画について (2) 今後の整備スケジュールと、整備後の管理運営について
			【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

個人質問（３日目） 平成 18 年 3 月 3 日（金）

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	宮 里 光 雄 (自民・無所属 連合)	1 水源税条例 について	北部六市町村によって「沖縄本島北部地域ダム 所在市町村連絡協議会」が設立され、各市町村の 「水源税条例」施行を目指すとの報道があったが、 当局の見解を伺う
		2 「世界のウ チナーンチュ 大会」につい て	(1) 当事業開催の意義と本市への経済効果等を どのようにとらえているのか、当局の見解を 伺う (2) 当事業に係る本市独自事業の過去実績と、 今回予定されている事業内容について伺う
		3 奥武山野球 場について	現野球場を取り壊す前に、何らの式典を開催す べきと考えるが、当局の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、上下水道事業管理者、 関係部長

個人質問（３日目） 平成 18 年 3 月 3 日（金）

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	山 内 盛 三 (自民・無所属 連合)	1 I S O 9001 I S O 14001 の導入について	(1) I S O 導入のきっかけと導入した意義について (2) 認証取得に要した費用について (3) 認証範囲について (4) 導入後の評価と今後の課題について (5) 自治体における導入実態について
		2 モノレール 駅周辺の活性化について	(1) 駅周辺の活性化に向けてのプランはあるのか (2) 駅前の空テナントオフィスの実態は把握しているか (3) 空テナントオフィスに対する考え方、方針、支援等はあるのか
		【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長	

個人質問（３日目） 平成 18 年 3 月 3 日（金）

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	湧 川 朝 涉 (日本共産党)	1 松くい虫被害の根絶について	(1) 那覇市内の松くい虫の被害の原因解明とその対策について 那覇市内とその周辺の被害状況を速やかに調査すべきである (2) 民有地での被害については、松くい虫の根絶の立場から、補助を検討すべきである 市内の松くい虫被害を根絶するために、対策本部を設置すべきである 以上の項目についての当局の見解と対応を伺う
		2 宇栄原南区画整理事業について	(1) 同地域内の側溝整備事業の今後の予定について 側溝整備事業のためにも、豊見城市との連携が必要であると思う (2) 宇栄原南区画整理事業はなぜ換地できないのか。その理由について 宇栄原南区画整理事業は早急に終了させるべきである。終了させるための日程表を作成すべきである 以上の項目についての当局の見解と対応を伺う

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 消防行政について	(1) 消防行政の任務・役割について (2) 消防整備基本計画を早期に策定して、那覇市全域をカバーする消防力を実現すべきである。6分台に到達できない地域名、世帯数、人口は幾らか 以上の項目についての当局の見解と対応を伺う
		4 中学校の卒業式のあり方について	(1) 卒業式は子供たちが主人公で運営されるべきである (2) ある中学校では、生徒会やPTA役員や父母からも、卒業生の要望でもある、従前の伝統ある方式に戻してほしいとの要望が出されている 受験を控えた卒業生がその事で悩んでいるとのことであるが、承知しているのか 以上の項目についての当局の見解と対応を伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 18 年 3 月 3 日（金）

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	洲 鎌 忠 (大志の会)	1 教育行政について	(1) 私学振興について 公立・私立中学校の運営費並びに施設建設費等の資金確保（調達）はどうやっているのか、説明願う 本市の子供たちが私立中学に在籍している数はいくらか 公立と私立の教育上での相違は何か 1000 人近い子供たちが、近くの公立中学校へ行かず、私立中学校へ入学する理由をどう考えるか。教育長の見解を求める 中学生 1 人当りの教育費に一般会計より持ち出される金額は幾らか。また、私立中学に対する本市の支援はどうなっているのか (小)中高一貫教育について、教育長の見解を求める 私学の評価について問う 小学校の統廃合により生じた廃校を跡利用し、私立小学校に活用させて私学の振興を支援したらどうか、見解を求める (2) 英語教育の目的について見解を求める
			【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 18 年 3 月 3 日（金）

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	大 城 春 吉 (自民・無所属 連合)	1 新市町村合併について	県は新市町村合併特例法に基づき、新たな合併素案を県の合併促進審議会に提示され、検討いかんによっては、来る 3 月末までには県知事に答申されると言うことである。素案によると現在の 41 市町村を 25 に再編する構想である。特に、新特例法では合併協議会を促すために県知事に「勧告権」が与えられているだけに、動向が注目される。以上の観点から次の点について伺う (1) 県の構想では本市グループには隣接する南風原町、新たに与那原町を加え座間味村、渡嘉敷村の 5 市町村から構成されている。県都那覇市の市長として県から勧告を受けた時、前回同様に前向きに町村に働きかけるお考えはあるのか (2) 那覇市南風原町南部離島村は、合併任意協議会を平成 15 年 2 月に立ち上げたものの 1 年足らずで十分なる論議がされず解散となり、またいちろの望みを託した座間味村、渡嘉敷村とも最終的には不成立に終わった。至った経緯からして反省なり、今後における研究課題があれば説明されたい (3) 南風原町は昔から首里王府の直轄地として食と衣の生産を担い王府の経済を支えてきた町で、本市と最も近く今や一体化しつつある地域である。昨今合併して県都にしようと多くの町民が立ち上がっている。今後連携を密にして新たな町づくりを目ざして、まず南風原町と合併を視野に入れた行政間や市民、町民同士の合併研究会あるいは各種交流会を積極的に推進するお考えはないか

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 還元施設について	新ごみ処理施設を引き続き南風原新川地内に建設する前提条件として、健康増進機能等を有した還元施設を建設して市民町民にサービスを提供する。その施設が来る９月にオープンする運びとなっている。そこで次の点について伺う (１) 還元施設「環境の杜ふれあい」を周辺の地区の自治会に指定管理者として管理運営を一任するとの事だが管理業務、管理責任の具体的内容について伺いたい (２) 健全な経営体制を構築するにはあらゆる角度から経営戦略を練り、積算根拠をしっかりと把握し、事業の安定化、効率化そしてサービスの拡充を図らなければならないと思慮する。そこで、短期、中期、長期的展望及び収支決算はどうなっているか (３) 還元施設と言えども赤字経営を余儀なくされても、ごみ処理施設周辺地区の負担軽減を図る上から最大の経費負担はやむを得ないと考えているのか。また、南風原町との管理運営費の負担割合は現在どうなっているのか
			【答弁を求める者】 市長、関係部長

個人質問（3日目） 平成18年3月3日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	玉城 彰 (民主クラブ)	1 職員の健康問題について	産業構造・社会状況の急激な変化により、働く者は過労やストレスが要因で突然体調を崩したり、様々な病気を併発する人が増えている 特に公務員は、民間に働く者と比較してメンタル障害に陥る人が毎年増加傾向にあると言われ、深刻な状況である そこで、次のことについて質問する (1) 平成15年以降の病休取得者数と休職者数について (2) メンタル系の割合と年齢状況について (3) 因果関係について (4) メンタルヘルスの相談や本人、家族を含めた対応のあり方と件数について (5) 職場の環境づくりについて (6) メンタル系職員の職場復帰の対応について (7) 平成15年度以降の予算額について (8) 今後の課題と取り組みについて
		2 健康行政について	食関連プロジェクトの具体的な内容や取り組み、目標について伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長